



4/8 伊豆半島一の大規模校「下田高校」誕生

下田南高校と下田北高校の統合により誕生した下田高校の開校式が行われました。式では、弾厚作(加山雄三)さん作詞作曲による新校歌が披露されたほか、「無限のひろがり・輝き」などをイメージした校章をあしらった新しい校旗が生徒代表により紹介されました。



3月31日は「下田開港記念の日」

日米和親条約によって、函館とともに下田が開港されたことを記念する日です。本年は、学童保育の子供たちを対象に道の駅のハーバーミュージアムと、地元産の天草を使ったところ天の食事会を行いました。展示室を見学した子供たちは、下田小の校歌にも出てくるペリーの姿に、興味津々でした。



4/15 健康劇「医療費どんだけ～」

下田市いきいきサポーター総会が市民文化会館で開催されました。健康問題などを楽しく紹介する手作りの劇も披露され、会場は笑いに包まれていました。健康劇は、10月からはつらつ健康教室で上演されます。



4/2 26名が新たに消防団員に

下田市消防団入団式が下田市民スポーツセンター体育館にて行われ、藤井団長より各分団の新入団員代表に辞令が交付されました。仕事との両立は大変だと思いますが、今後の皆さんの活躍を期待します。



4/8 東部特別支援学校伊豆下田分校開校

下田小学校の余裕教室を活用し開設された、東部特別支援学校伊豆下田分校の開校式が行われました。小・中学部に通う22名の児童生徒を下田小6年生が「出発の朝」を歌って歓迎しました。

- 2日 消防団入団式
- 5日 ごみひろいしましょう
- 6日～15日 春の全国交通安全運動
- 7日 市内小中学校入学式
- 8日 県立下田高校開校式  
東部特別支援学校伊豆下田分校開校式

- 4月行事
- 15日 いきいきサポーター総会
  - 20日 大賀茂れんげ祭り
  - 23日 静岡県各市選挙管理委員会連合会通常総会
  - 25日 食生活推進協議会総会
  - 26日～28日 フラワー都市交流連絡協議会総会  
(鹿児島県和泊町)

下田市内の指定文化財(その34)

市指定有形民俗文化財

小白浜三十三観音 閻魔

所在地 須崎小白浜

指定日 昭和51年5月27日

須崎漁港の東側、民家の庭先を通る坂道を登ると、突き当たりには急な石段があります。この上にあるのが庚申堂。ここに今回ご紹介する石仏群があります。



石室に並ぶ三十三観音

三十三観音

石段を登ると、右手上方に古い石切丁場跡があり、石を切り出したあとの石室に石仏が並んでいます。石仏の大きさは、35～50cm。種類は、二十の腕を持つ千手観音、十一面観音、聖観音。さらに馬頭



石仏(准胝観音)

閻魔石像

庚申堂のもう一方の主役は、お堂の中に安置されている閻魔の石像です。粗い凝灰岩製で像高74cm。笏を握って威儀を正し、頭に銅製の宝冠をい



閻魔の石像

を開けて、悪人を叱りつける姿。しかしどこか親しみやすい石仏です。この像には、力自慢の男が力くらべの末に隣村から担いできたという伝説があるそうです。

実は珍しい脇役たち

閻魔像を見学した後は、かたわらの石仏にも目を留めてください。筒のようなものを握っている石仏がありますが、この筒は実は経巻で、智慧の仏、文殊菩薩の持物。一方、五輪塔を持つているのは、56億7千万年後に現れる仏教の救世主・弥勒菩薩です。文殊も弥勒も石仏は珍しく、一見の価値があります。

天気の良い日は散歩がてら、魅力的な石仏たちを訪ねられてはいかがでしょう。アクセス 伊豆急下田駅より須崎行きバス須崎バス下車徒歩10分 問合せ先 教育委員会生涯学習課 ☎5055

樹のまち vol.74

まもなく『第69回黒船祭』を迎えます。本年は下田市とニューポートの姉妹都市提携50周年という記念すべき年であり、ニューポート市よりステファン・コリン、マクローリン・ジャスティンお二人の市議会議員、スペンサー・ヴァイナー、I州日米協会長ご夫妻をはじめ総勢24名の代表団が来田されます。

振り返ってみれば、両市の交流は昭和59年から始まった『ニューポート黒船祭』から市民の相互交流が活発になり、国際交流を深めてまいりました。今年で25回を数える『NP黒船祭』ですが、私自身、第2回は一市民として、第18回・第20回には市長として市民の皆様と共に訪問してまいりました。特に第2回黒船祭への下田市派遣団は、当時の6月定例会市議会で紛糾し、一時は派遣をあきらめた状態でした。このままでは国際姉妹都市の縁にも影響がある。昨年、初めて開催されたばかりの『NP黒船祭』に少しでも役立てるならと土屋正観光協会長、佐々木嘉昭さんの3人で訪米を

決意したものでした。第1回訪問メンバーの酒井柳平前議長、村上庸道玉泉寺住職、亀村文男

さん(青年会議所)、岡田光夫さん(郵便局)を招き経験談を聞くと共に「黒船祭交流の糸を切らないためにもぜひ親善を深めてきて下さい」と激励を受けました。私にとつて初めてのアメリカ本土への旅という楽しさと共に、わずか3人で参加し、昨年の9人の下田市代表団以上の親善・交流を果たしてこつという責任の重さがひしひしと体に伝わってきた事を思い出します。

この参加によって毎年の訪問団事業が継続し、翌年には当時の池谷市長を団長とする親善使節団15人が参加、記念式典やレセプション、ペリー提督墓前祭などに出席し、さらに交流の輪を深めることが出来ました。この訪問に当たつて玉泉寺の村上庸道住職がグリーンウッドセメタリーに眠るハリスの墓に石灯ろうを寄贈された記事が、日米の新聞に大きく掲載されました。歴史を重ねてきたニューポート訪問団。今年は姉妹都市50周年であり、第25回NP黒船祭は例年より盛大に開催されます。市長を団長とする市民訪問団にぜひご参加下さい!



下田市長 石井直樹